



三芳野

目指す 活力に満ち、
学校像 さわやかで、
心なごむ学校

生徒数 274名 1年 92名 2年 68名 3年 114名 校長 天達 新一

立志のススメ

今年度の1学期はコロナウイルスの影響で、2か月程の学校生活、しかも前半は分散登校や半日だけの授業で終わりを迎えました。部活動にも学校行事にも十分に取組みず、皆さんも何となく物足りなさを感じたまま夏休みを迎えることとなったのではないのでしょうか。コロナウイルスの流行だけでなく、梅雨が長引いたことで、九州や東北で大きな自然災害が起きるなど、いつ何が起きるかわからない時代を皆さんは生きています。そんな時代だからこそ、自分自身の考えをしっかりともたなければならないとも言えます。

また、現在はAI(人工知能)の開発が急速に進んでいます。一昔前、店先でわたしたちを迎えてくれたペッパー君やiPhoneに搭載されたSiri等の普及を考えても、近い将来、皆さんが大学を卒業して社会人としてデビューする頃にはAIの進化はさらに進み、相当数の職種がAIに取って代わられると言われていています。そうすると、皆さんの職業選択すなわち、進路の実現はたいへん困難になります。こうした状況の中で大切なのは、「志」を立てること、すなわち「立志」です。

今、三者面談を実施している3年生たちの中にも、「進路」とは高校受験や大学に進学するか否かというイメージを強くもっている人が少なからずいるようです。もちろん、それらは身近な進路選択の一つであり、決して疎かにできないことです。しかし、人生のゴールは高校でも大学でもありません。どんな高校や大学に入学したかというよりも、そこで何を学び、その先の人生で学んだことをいかに役立て、自分の人生を大切に、世のため人のために尽くせる人になれるかが大切です。

そのためには、「志」を立てなければなりません。「志」とは自分が思い定めた目標を目指す心のことです。「夢」とか「希望」という言葉と似ていますが、「志」のほうがより決意の固さが感じられます。将来の自分はどんな人間でありたいのか、自分自身としっかりと向き合い、時には信頼できる人に相談し、自らの将来を自分の言葉で語る、野田中の皆さんにはそんな中学生になってほしいと思っています。

幕末の福井藩士で、当時の勤王の志士たちに多大な思想的影響を与えた橋本左内は、15歳の時に自らの志を『啓発録』という書物に記しました。ちょうど今の皆さんと同じくらいの年齢です。

- ・「稚心を去る」・・・子供じみた甘えを脱却する。
- ・「気を振るう」・・・負けじ魂で強く決意する。
- ・「志を立つ」・・・目標を揺るぎなく定め、精進する。
- ・「学に勉む」・・・優れた人物に見習い、実行する。
- ・「交友を択ぶ」・・・自分の向上につながる友を選ぶ。



これらの言葉から、自らの生き方をしっかりともっていることがわかります。心に志がある限り、人生は決して無駄にはなりません。何歳になっても「志」を失わない生き方こそが豊かな人生です。

明日から短いながらも夏休みとなります。3年生はいよいよ自分の進路選択に直面します。自分に合った、自分を活かす高校を選ぶためには、情報を収集し、整理していくことが大切です。調べたり、聞きに行ったり、見に行ったりといった行動を、自分から主体的に起こさなければ何も始ま

りません。自分の人生は自分で切り拓く。そのために「志を立てる」。このことを決して忘れないでください。最後に、『路傍の石』という物語の中で、主人公の愛川吾一少年に担任の次野先生が語った言葉を皆さんに贈ります。

「たったひとりしかいない自分を、たった一度しかない一生を、
本当に生かさなかったら、人間生まれてきたかいがないじゃないか」

8月の主な行事予定

1	土	夏季休業日
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	山の日
11	火	閉庁日
12	水	閉庁日
13	木	閉庁日
14	金	閉庁日
15	土	
16	日	
17	月	2学期始業式・学活・集会・清掃
18	火	5時間日課、弁当持参
19	水	給食開始
20	木	耳鼻科健診、学年・学級の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	家庭教育学級(全校進路説明会)
29	土	
30	日	
31	月	特別日課6時間

※詳細な日程・予定等は各学年だより等を参照下さい。

部活動が再開しました

コロナウイルスの影響でなかなか部活動が始められませんでした。ようやく再開しました。3年生は最後の大会に参加出来なかったため、せめて最後に少しでも活動させてあげたいと思い、参加希望を募って1学期いっぱいまで参加できるようにしました。先日は卒業アルバムに載せる写真も撮影しました。つらく悲しい思いをさせてしまいましたが、この経験が将来何かの形で役に立つことを切に願っています。

短い夏休みをどう過ごすか

各クラスで学級担任から話があったと思いますが、今年度は16日しか夏休みがありません。例年の1/3程度の期間です。短い夏休みをどのように過ごすか。それぞれでよく考えてください。コロナウイルスの終息が見えない中、旅行や帰省は難しいかもしれませんが、部活や1学期の復習に目標をもって取り組んだり、読書や家の手伝いなど、いつもは出来ないことに挑戦したりするなど、短かったけれど充実した夏休みだったと思えるような日々を過ごしてください。

ただ感染予防策にはくれぐれも気を抜かずに取り組んでください。万が一、体調に異変を感じたらすぐに医療機関を受診してください。休み中、皆さんの体は皆さん自身が守らなければなりません。8月17日に元気で明るい笑顔の皆さんと再会できるのを楽しみに待っています。